WEEKLY REPORT OF IIZAKA ROTARY CLUB, DIST. 2530 広報委員会作成

Rotary Club of Iizaka

持続可能なインパクトを生み出そう

飯坂ロータリークラブ 週報

創立	昭和33年(1958) 5月5日
ガバナー	金田 昇
ガバナー補佐	紺野 希予司
会長	菅野 浩司
幹事	鈴木 重忠

2026－27年度
RI会長 オライカ・ハキーム・ババロラ
トランス・アマディ・ロータリークラブ（ナイジェリア）

◆ 例会日／木曜日１２：３０ ◆ 例会場／かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋
事務局/〒960-0201 福島市飯坂町字湯町３６－６ TEL 070-8322-7988 FAX (024)505-4058
e-mail:iizakarc2530@gmail.com

言行はこれに照らしてから
「四つのテスト」
1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

10月は地域社会の経済発展月間

通算 第15回［3252］回目 例会報告

米山月間
令和8年(2026)10月15日(木)

出席委員会報告

会員総数	37名
出席会員	26名
欠席会員	11名
出席率	70.27%

◆開会点鐘 菅野浩司 会長

◆ロータリーソング 〔それでこそロータリー〕 高田 薫 ソングリーダー

◆四つのテストの唱和 渡辺哲也 職業奉仕委員長


ロータリーソング


四つのテスト

◆お客様紹介
❁ パストガバナー（２０１０―１１年度）大橋廣治 様 福島南ＲＣ
❁ 東邦銀行 飯坂支店 支店長 杉山政美 様

§ 今週の誕生日 ♫♫ ♫ ♫ ♫ 10月 15日 菊地 健之 会員 ♫♫♫♫♫

lunch time

◆会長の時間



本日も例会に元気にご出席いただきありがとうございます。本日はゲストに、２０１０―１１年度ガバナー福島南ＲＣ 大橋廣治様をお迎えしての例会です。さて、先日１０月３日には、国際交流フェスティバル「ザ・まつり in 飯坂」が開催されました。絶好のお天気の中、今年は、１４か国から外国人の方４８名、ゲストの日本人及びロータリアンを含めて、総勢８６名の参加をいただき、今年も成功裏に終えることができました。当日までの準備から、翌日の後片付けまで、ご協力・ご参加いただきましたすべての会員の皆さま、そして、事務局の佐藤さんには、本当に感謝しております。ありがとうございました。このイベントは、飯坂ロータリークラブの奉仕活動の一大イベントでもあり、私も会長として、初めて陣頭指揮をとらせていただいたわけですが、というのも、前回の会長年度（２０２０－２１）では、ちょうどコロナ禍で「中止」となり、心残りでもありました。当日は張り切って、自ら御神輿を担いだので、慰労会で吉川屋さんに戻ったときはヘトヘトでした。外国人の方も温泉で疲れを癒していただき、本日スピーチをされる西島会員が、外国人のカラオケ・歌合戦？の司会役を務めていただきまして、本当に楽しそうにカラオケを楽しまれておられましたね！そういった様子を思い起こしますと、私も会長として、１曲ご披露しておけば良かったと思いましたが、「あとの祭り」ですね！ご清聴ありがとうございました。

＜ パストガバナー(2010－11年度) 大橋廣治 様 ＞ 数日前にガバナー月信で、佐藤勝也さんが、飯坂ロータリークラブに入会されたことを知り、これは何をおいても行かなければならないと思い、お邪魔させていただきました。私は、佐藤工業さんの協力会「佐工会」に、長らくお世話になっており、今、私が在るのは、佐藤工業さんの佐藤ファミリーのおかげだなと日ごろから思っておる次第です。素晴らしいご一家ですので、これからも福島のために活躍をしていただきたいという気持ちでおります。今日は、貴重なお時間をいただきありがとうございました。



◆幹事報告 鈴木重忠 幹事
１．月 信「ガバナー月信」１０月号 Vol.4 ２．来 信 ３．メーキャップ報告 なし

ロータリーレート
10月 1ドル＝157円

◆国際交流フェスティバルの報告 加藤 淳 国際奉仕委員長



国際奉仕委員会からご報告いたします。会長のお話の中で、内容につきましては、ご報告がございましたので、私の方からは御礼を申し上げます。会員の皆様のおかげで、至らぬ点は多々あったと思いますが、力不足の委員長であった私を、精一杯、支えていただきました。ありがとうございました。おかげさまで、楽しく盛大に国際交流フェスティバルを開催し、無事に終えることができましたことを、この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。


【 本日のランチ 】

◆スマイリングＢＯＸ　伊堂里佳 小委員長 【合計７３ｓ】

パストガバナー 大橋廣治 様 5,000 円 佐藤勝也さんの入会を祝って

菅野　浩司 会員 ５ｓ 本日は、ゲストに大橋廣治パストガバナー様をお迎えして、西島幸輔会員の新会員スピーチ、とても楽しみにしております。国際交流フェス「ザ・まつり in 飯坂」、大変お疲れ様でした。
鈴木　重忠 会員 ５ｓ 大橋廣治パストガバナーをお迎えして　西島会員のスピーチたのしみにしています。
吾妻　一夫 会員 ５ｓ 大橋廣治様をおむかえして　西島会員スピーチ楽しみにしています。
油井　明則 会員 ５ｓ 大橋廣治パストガバナーをお迎えして。西島幸輔会員、新会員スピーチよろしくお願いします。
渡辺　哲也 会員 ５ｓ 妻の誕生日にお花をいただきました。感謝申し上げます。
鈴木　正実 会員 ５ｓ 妻にすてきな花ありがとうございました。
髙田　薫　 会員 ５ｓ 多々欠席おわび
堀切　孝敏 会員 ３ｓ パストガバナー大橋廣治様をお迎えして。
小笠原尚史 会員 ３ｓ 大橋パストガバナーをお迎えして
石川　邦俊 会員 ３ｓ 西島会員、スピーチたのしみにしています。
鈴木　悟　 会員 ３ｓ 妻の誕生日にすてきなお花をありがとうございます。
西條　博之 会員 ３ｓ 大橋様をお迎えして　西島会員、スピーチたのしみにしています。
加藤　淳　 会員 ３ｓ パストガバナー大橋廣治様をお迎えして。西島会員のスピーチ楽しみにしています。
数又　浩　 会員 ３ｓ 欠席ばかりで申し訳ございません。大橋パストガバナーをおむかえして。西島会員、よろしくお願いします。
紺野　容樹 会員 ３ｓ 西島会員のスピーチ楽しみにしてます。大橋ＰＧをおむかえして
生田目正志 会員 ３ｓ 大橋パストガバナーをお迎えして　西島会員のスピーチ楽しみです。
渡辺　達也 会員 ３ｓ パストガバナー大橋廣治様をお迎えして　新会員スピーチ西島会員楽しみにしています。
伊藤　俊憲 会員 １ｓ 大橋パストガバナーをお迎えして。西島会員の爆笑ネタを期待しています。
伊堂　里佳 会員 １ｓ にっしー、初スピーチ楽しみにしています。
西島　幸輔 会員 １ｓ 新会員スピーチよろしくお願いします。

◆新会員スピーチ　西島幸輔　会員



本日はこのような時間をご準備いただき、本当にありがとうございます。まずは、自己紹介ですが、私は昭和６３年（１９８８年）８月３０日に大阪府島本町で生まれ、私の父と祖父は消防士で、兼業農家でもあり、田んぼや畑、タケノコなどを生産する家庭に育ちました。私の母の生まれは桧枝岐村です。最後にお話ししようと思いますが、福島県で１番人口が少なく、雪が多いところで生まれ育った母が、大阪に嫁いで、子供２人に恵まれました。大阪で私は京都産業大学に入学しましたが、大学４年生の時、２０１１年３月１１日に東日本大震災が起きました。その時、私は母の実家である桧枝岐にいました。ここから、私の福島県との縁がどんどん強くなります。大学卒業後は、生命保険会社に約１年いたのですが、福島で働くきっかけがあり、福島民報社に入社をすることになりました。

社内での異動遍歴ですが、２０１２年９月に中途採用で入って、本社営業部、郡山営業部で広告の営業を数年担当し、その後は本社地域交流室に配属となり、次の本社企画推進部では広告の仕事をし、まさかの本社紙面管理部に配属され、世にいう「校閲」ですが、その次に本社整理部という部署から、どんどん記者の道ができて、まさかの、かの有名な飯坂支局長を拝命しました。今は厳しいですが、頑張りたいと思っております。

せっかくですので、新聞ってこんなんだよというものをご紹介したいと思います。『どこから読んでもＯＫ』 １面から順序よく読むのも良し、後ろからも良し、好きな面から自由に読めるのも新聞の特徴です。『大ニュースは号外発行』 新聞の右上に「第〇号」とありますが、これは毎日発行している号です。突拍子もないニュースがポンと出たとき、号から外れたものを出すという意味で号外が配られます。『６版８版て何？』 選挙の投票結果など、テレビではその時々で説明してくれますが、新聞は記事の締め切り時刻が変わるため、実はエリアによって、書いてある内容が変わります。『質問を重ねて事実に迫る』 必ず正しいことを確認するために取材をしています。記者が取材対象者に直接聞いたことを、自分のフィルターを通して記事に落とします。『正しく、分かりやすく』新聞は、小学校３年生が全部の内容を理解できるように書くよう教わりました。そして、我々は何でもかんでも取材するわけではないということも説明したいと思います。当日は、司令塔を担う「デスク」が、本社で取材の指示を出したり、原稿のチェックなど、その当日の紙面の取材の内容を整えて、連日の記事ができています。私がいた紙面管理部では、「記者ハンドブック」という、様々な日本語のルール、新聞を読みやすくするために統一するルールが書かれている冊子で確認しながら、新聞を作るときは、間違いは認められないので、漢字やひらがなの１字１字を確認し、皆様のお手元に届いていることをお伝えしたいと思います。



私の自己紹介に戻って、先ほども言いましたが、私の母の生まれは桧枝岐村です。雪深い村で、名産はおそばです。私が調べたところによると、おそばが有名な場所は、江戸時代くらいからはかると、もともと土地が肥えてはなかったそうです。土地が肥えたところは小麦がとれて、うどん文化ができるそうです。土地が痩せたところに作られるのがおそばで、桧枝岐は県内で唯一、お米が生産できない土地です。しかし、桧枝岐村には「尾瀬」があります。一時期はダムで潰そうという話になったのですが、当時、村出身のおじいちゃんが「こんな素晴らしいところを潰すのはもったいない。観光地にしろ。自然保護しろ」ということでそのまま残り、昭和の後期ぐらいには、毎年６０万人が訪れる一大観光スポットになりました。その際に、村は民宿を多く設け、一時期は民宿が６０件立ち並び、基本的には旦那さんが役場の仕事をして、奥さんが宿の女将をするという兼業みたいな感じで、私の母の実家も民宿を経営していました。そこで出されていたご飯は、都会に真似することなく、当時、昔から山での仕事で食べられていた山の人のご飯、「山人**やまうど**料理」と言いますが、山菜、木の実、イワナ、今でいうジビエなど、それをお客様に提供することで、一時期、村を支えることができました。桧枝岐は小さい村だからこそ「歌舞伎」があります。江戸時代に、お伊勢参りに行った村人が、帰ってくるときに江戸で見た歌舞伎を真似したものを、３００年続けてきたら、逆に面白いということで、村唯一の娯楽だったそうですが、それが今に至っています。また、村が発展する中で温泉を掘り、３本出てきましたが、３本とも種類の違う温泉が楽しめるというのも村の魅力だったりします。本当に村独特の面白い文化がたくさんあるのです。それでは時間になりましたので、私の会員スピーチを終わらせていただきます。ありがとうございました。

◆閉会点鐘　会長